

研究1 「特別支援教育事例研究」

1 趣旨

特別支援教育推進体制モデル事業の推進地域における取組事例を通して、LD等の児童生徒個々の実態を踏まえた支援方を研究し、その成果と課題をまとめ、さらに各校における校内体制の整備の在り方について検証する。

また、この研究成果を府内各地域の特別支援体制の充実に役立てていくために総合教育センターホームページ等で公開する。

2 昨年度の取組との関わり

特別支援教育推進体制モデル事業1年目である昨年度から、推進地域の指名巡回相談員8名による地域実践がスタートした。

2回の巡回相談員アセスメント研修の後、各市町ごとに巡回相談及びケース検討が実践された。

各市町での取組を円滑に進めるために、また担当者同士の情報交換や進め方の検討の必要性から、1月から3月までは「巡回相談員連絡会」として会議を設定し、実施した。

2年目の今年度で事業は終了し、次年度以降は各市町で独自に特別支援教育の推進体制を整備・充実していかなければならない。さらに府下全域に広めていくためにも、取組成果のまとめと発信を計画的に進める必要があると考え、センター研究と位置づけた。

巡回相談員は昨年度に引き続き全員が同じメンバーで指名された。昨年度と同じく各地域の進捗状況を交流しつつ、成果をまとめながら市町独自の体制づくりをすすめる。

3 研究協力員（総合推進地域の研究協力員、推進地域の巡回相談員）

総合推進地域	宇治市	南小倉小学校	教諭	水田 利枝
推進地域	城陽市	寺田南小学校	教諭	鈴木 隆子
	京田辺市	田辺小学校	教諭	名内美恵子
	木津町	木津小学校	教諭	井関真理子
	久御山町	佐山小学校	教諭	大島 悦子
	八幡市	八幡第二小学校	教諭	山田 眞弓
	向日市	第6向陽小学校	教諭	藤原由美子
	長岡京市	長岡第七小学校	教諭	萩尾 康子
	大山崎町	第二大山崎小学校	教諭	塩谷 和子

（センター担当者 研究主事兼指導主事 鋒山 智子）

参考

平成16年度「特別支援教育推進体制モデル事業」より

<巡回相談>

- ・府の巡回相談チームは、専門家チームの委員、昨年度から継続する各推進地域から1名ずつ推薦された教員、指定地域にある養護学校から推薦された専門性の高い教員で構成する。（14名、8名、5名）
- ・推進地域を対象とし、各専門分野の委員がチームを組んで巡回する。基本的に、午前は医師を含むチームによるモデルケースの相談、午後は教員の巡回相談員による相談を行う。相談による個別ケースへの支援とともに、推進地域の市町村や学校が具体的な支援や支援体制のノウハウを学び、支援体制の整備につなげていくことをねらいとする。
- ・総合推進地域の宇治市は、市独自の巡回相談チームを編成して、市内全小中学校を対象に、原則として週1回の巡回相談を実施する。